

“Museum Collections

P R O

P A G

A T E”

..... a 2026 exhibition planned by Kuma Museum of Art

繁茂 シヨ ン コレク るすは

【会期】2026年9月12日(土)～12月6日(日)

【開館時間】9:30～17:00(入館は16:30まで)

【休館日】

月曜日(ただし、9月21日、10月12日、11月23日は開館)、
9月24日(木)、10月13日(火)、11月4日(水)、11月24日(火)
※9月12日(土)は開展示開催のため、13:00～14:30の間は展示室への入室を休止します。
※9月27日(日)はコンサート開催のため、12:00以降は予約者以外は入館できません。

【観覧料】

前売券(一般のみ) 600円
一般 1,000(700)円、高大生 400(300)円、小中生 300(200)円
※前売券は8月下旬頃より県内プレイガイド等で販売開始。
※()内は20名以上の団体、高齢者(65歳以上)の方の割引料金。
※障害者手帳(身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳)をお持ちの方とその付添者(1名)は無料。

【主催】

町立久万美術館、久万高原町、愛媛新聞社、愛媛CATV

【後援】

NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、
FM愛媛、高知新聞社、RKC高知放送、愛媛県、愛媛県教育委員会、
松山市、松山市教育委員会、久万高原町教育委員会

【助成】

一般財団法人 自治総合センター

【会場】

町立久万美術館



【交通案内】

- ◆JRバス：松山から70分(ほぼ2時間毎、土・日・祝運休あり)。
予讃線松山駅から久万高原行「久万中学校前」下車徒歩約10分。
- ◆車：松山市内から国道33号線で約50分、高知市内から約2時間。
松山自動車道松山ICから国道33号線を高知方面へ約30分、久万中学校前交差点を左折、県道12号線(西条久万線)を0.8km東進、右側。
- ◆駐車場：45台(無料)

【連絡先】町立久万美術館

〒791-1205 愛媛県上浮穴郡久万高原町菅生2番耕地1442-7

電話：0892-21-2881 / FAX：0892-21-1954

<https://www.kumakogen.jp/site/muse/>

“Museum Collections PROGRAM ART” ... a 2026 exhibition planned by Kuma Museum of Art

はコレクション
繁茂する



町立久万美術館 2026年度自主企画展

岸田劉生《岸田辰弥之像》1929年、当館蔵



重松鶴之助《閑々亭肖像》1926年、当館寄託



三輪田俊助《風景》1937年、当館蔵



森 堯茂《風の門—S.E.へのレイイム—》1996年、当館蔵



多和圭三《無題》、1992年、当館蔵



●トークイベント「デザインから見る久万美術館」

日時：9月12日（土） 15：00～16：30

講師：羽良多平吉（エディトリアルデザイナー）、
聞き手：林 浩平（詩人、前恵泉女学園大学特任教授）、
水本アキラ（エディター）

参加費：無料 ※要観覧券、申し込み不要

定員：80名

●「100年前のZINE(同人誌)を体験しよう！」

日時：9月19日（土） 13：00～15：30

講師：西武アキラ（実験漫画家、本展出品作家）

参加費：1,000円 ※要観覧券

※要申し込み、詳細は当館HPをご覧ください。

●ギャラリーコンサート「追想 イェルク・デームス 巨匠の心と共に 弟子たちの協演」

日時：9月27日（日） 開演14：00（13：30開場）

出演：阿久津麻美（ソプラノ）、仲田真弓（クラリネット）、
大井美佳（ピアノ）

チケット：一般2,500円、学生1,000円（展覧会
観覧料込み）

※要申し込み、詳細は当館HPをご覧ください。

※当日はコンサートにご予約いただいていないお客様の
12時以降のご入館をお断りさせていただきます。

●トークイベント「美術館の作品収集について」

日時：10月3日（土） 14：30～16：00

講師：江尻 潔（足利市立美術館学芸員）

参加費：無料 ※要観覧券、申し込み不要

定員：80名

●トークイベント「歴代学芸員が語る久万美コレク ション」

日時：10月31日（土） 14：30～16：00

講師：神内有理（広島県立美術館学芸員・元当館学芸員）

× 高木貞重（当館館長）× 品川ちひろ（当館学芸員）

参加費：無料 ※要観覧券、申し込み不要

●くまびっくズプログラム

日時：11月7日（土） 10：00～11：00

講師：当館学芸員

参加費：無料

定員：5組程度

内容：未就学児とその保護者を対象に、鑑賞会を
行います。

※要申し込み、詳細は当館HPをご覧ください。

●学芸員トーク

日時：①9月20日（日）、②10月24日（土）、

③11月3日（火・祝）、④12月6日（日）

①②11：00～11：30／③④14：30～15：00

講師：当館学芸員

参加費：無料 ※要観覧券、申し込み不要

●文化の日無料開放デー

日時：11月3日（火・祝）

当日はどなたも無料でご覧いただけます。

●上浮穴高校生による「久万美魅力発信プロジェ クト」中間報告会

日時：11月21日（土） 14：00～15：00

参加費：無料 ※要観覧券、申し込み不要

内容：4月から上浮穴高校2年生5名が「久万美
魅力発信プロジェクト」に取り組んでいます。3
月のプロジェクト終了に向けて、来館者の皆さん
に向けた中間報告会を開催します。

【出品作家】岸田劉生、村山槐多、水本伸一、柳瀬正夢、重松鶴之助、伊丹万作、中村草田男、
渡部昌、中村明、岡本千太郎、八束清、長島操、高階重紀、三輪田俊助、岡本鉄四郎、
工藤省治、馬越舛太郎、古茂田守介、鞍掛徳磨、森堯茂、吉増剛造、坪内晃幸、三好滋、
田中坦三、戸谷成雄、多和圭三、吉田淳治、矢原繁長、岸田将幸、菅原里紗、笹岡啓子、
高橋あい、菅亮平、稲川万人、狩野志歩、海野貴彦、西武アキラ、八木良太

1989年3月、319点の「井部コレクション」からスタートした町立久万美術館。開館37年を迎えた現在、その
総数は1200点ほどまでに増えました。

コレクションは美術館の核となるものです。作品が増えることは、美術館の骨格がより強固なものとなることと
も言い換えられます。ある人は、「コレクションは繁茂する」と言いました*。展示するたびごとに作品は意味を

深め、新たな姿を見せます。ひとつの作品が、ほかの作品を呼び寄せ、美術館は育ち、大きな森となっていくのです。

岸田劉生《岸田辰弥之像》は、1996年に町内外の方々からの寄付金も加えて購入されました。久万美術館に岸
田劉生の作品を収蔵してほしい、その思いが集った結果です。さらに、作品を収集するには、寄贈、寄託といっ
た方法があります。現在では新規収蔵作品のほとんどが寄贈、寄託によるものです。つまりそれは、作品は誰かの
思いとともに収蔵されているといえます。どのような方法でも、美術館は作品が制作された背景だけでなく、その
ものがたどった歴史も一緒に収蔵しているのです。

当館のコレクションを眺めてみると、愛媛の美術の流れの一端が見えてきます。本展では、その一部をもとに、
美術館とコレクションの関係性について考えてみたいと思います。ここまで育った木々がさらに大きな森になるよ
うに、繁茂の軌跡をご紹介します。

* 原田光「コレクションは繁茂する」『久万美いま30年』図録 町立久万美術館、2018年